

三島市中郷地区大場川流域 水害ハザードマップについて

平素は三島市の防災行政への取り組みに対し、ご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

静岡県は、平成 24 年 4 月、水防法の規定に基づき、大場川の県管理区間を洪水により相当な被害を生ずる恐れのある河川として指定し、併せて、大雨で大場川が氾濫した場合に想定される浸水区域とその水深を公表しました。

このことにより、浸水被害の発生頻度の高い、大場川流域の中郷地区について、川の氾濫まで至らずとも、大雨により生じる浸水状況を想定し、県が公表した情報と、避難に必要な情報を併せた、水害ハザードマップを作成しましたので、その概要について説明いたします。

◆ 水害ハザードマップとは

大雨により浸水が予想される区域とその深さ（マップ表面）、及び避難に必要な情報（マップ裏面）を市民の皆様にお伝えするもので、実際に浸水被害が発生した場合、その被害を最小限に留めることを目的としています。

浸水については、その発生原因により、以下のとおり**内水氾濫**と、**外水氾濫**に区分されます。

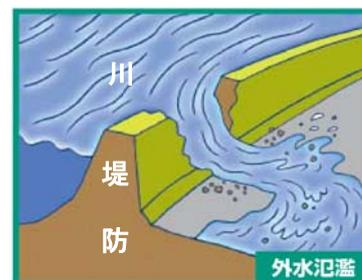
内水氾濫

大雨が発生し、川の水位が上昇することで、その川を放流先とする排水路の放流が出来なくなり浸水する氾濫です。



外水氾濫

大雨による堤防の決壊等の河川氾濫です。



本ハザードマップでは、両方の氾濫状況を想定しています。浸水しやすい場所や状況を日頃から把握して、避難経路の確認を行う等の事前の備えをお願いします。また大雨が発生した際には、その降り方に注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難をお願いします。

裏面に続く

◆対象区域

大場川流域に属する中郷地区

※ 中郷地区のその他の地区については、今後同様のハザードマップを作成していく予定です。

◆想定した状況

内水氾濫の想定状況

市内の大場川流域に、1 時間に約 77mm の大雨（50 年に 1 回程度起こる大雨）が降ったことにより、川の水位が上昇し、排水路の処理能力を超えた場合に発生する浸水を想定しています。

さらに、大場、梅名、竹ノ下の各ポンプ場の施設能力が雨量に追い付かないことを想定しています。

外水氾濫の想定状況

市外も含めた大場川流域のすべてに、2 時間に 57mm の大雨（概ね 50 年に 1 回程度起こる状況）が降ったことにより、堤防の決壊等の発生する浸水を想定しています。

※ 本マップには、前述の降雨条件を基に、浸水箇所等について想定していますが、その降雨条件以下の場合に、浸水被害が発生しないということではありません。

問合せ

三島市役所	上下水道部	下水道課	055-983-2664
	都市整備部	土木課	055-983-2636
	企画部	危機管理課	055-983-2650